



# WOOD FRIENDS

第**41**期 BUSINESS REPORT  
2022.06.01 ~ 2023.05.31

**株主の皆さまにおかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
当社グループ第41期連結累計期間（2022年6月1日から2023年  
5月31日）の事業概要をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。**

当連結会計年度における愛知県の戸建住宅市場は、円安に起因する資材インフレが住宅価格の上昇を招き、一般消費財の価格上昇をはじめとした物価上昇が消費者の購買意欲を削ぐ状況となっています。

このような状況下、当社グループでは、中期計画推進のため昨年度より販売エリアを拡大し岐阜県、三重県へ進出するなど、東海エリアでのシェア拡大に向けた積極的な施策に取り組んでまいりました。

製造小売体制の強みを活かした商品供給を続けてまいりましたが、マーケットの変化を敏感にとらえることができず、住宅事業の方針転換を図るタイミングを逸し、供給過剰の状態を次期へ持ち越すこととなりました。

その結果、当社グループの売上高は、住宅事業における分譲住宅販売戸数が前年同期を下回ったものの、集合住宅売却のほか、ゴルフ場運営での堅調な収入に支えられ、前年同期比で増加しました。

利益については、主たる事業である分譲住宅販売戸数の前年同期比減少に加え、建築資材価格の上昇等に伴う利益率の低下により前年同期と比較して大きく減少し、経常利益がマイナスとなりました。

また、当連結会計年度において製材工場建設資金調達に伴うシンジケートローン契約を締結したことで、一過性の費用が発生しました。

戸建住宅市場は、少子高齢化、人口減などの社会変化に伴い、市場規模の縮小が現実化してきています。当社グループとしては、事業ポートフォリオの再構築が重点課題であると考えております。今後は、住宅事業に接する事業として、中規模木造建築の事業化や製材工場の稼働に向けた準備も進めてまいります。

また、既存事業である住宅事業、余暇事業の競争力と独自性を強化することと、理由抜きで「購買衝動に駆られる」消費者目線での物づくりに取り組みます。

オリジナル建材である、木製サッシ・木製外壁材・うづくりフロア・エシカルフロアを活かし、外観内観ともに、他社が真似をすることができないデザインで木質感にあふれ、ナチュラルで温かみのあるスタイルの商品を提案いたします。

当社グループは、木質資源を有効活用し、地域の林業を適切に循環させ、木資源を適切に使い切る「木質資源カスケード事業」の実現のため投資・開発を進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、これまでと変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 林 知秀



## 営業の経過および成果

### 当社の取り組み

当期の住宅事業においては顧客接点の強化を図るべく、2022年11月26日、名古屋市守山区に自然素材をまとうエシカルな暮らしを提案する新商品『地球世代』のモデルハウスをオープンいたしました。

同年10月29日、名古屋市緑区に『住みかえSHOP.緑店』、同年12月10日、豊田市に『住みかえSHOP.豊田店』、そして2023年4月1日、刈谷市にモデルハウス併設型の『住みかえSHOP.刈谷店』をオープンするなど、『住みかえSHOP』店舗網の拡充に努めてまいりました。（『住みかえSHOP』店舗数 合計9店舗）  
2023年2月1日には、新商品として平屋住宅『style:F』を発表するなど積極的な営業施策に取り組み、その結果、売上戸数は1,023戸（前年対比1.9%増）となり、2期連続で過去最高を更新することができました。

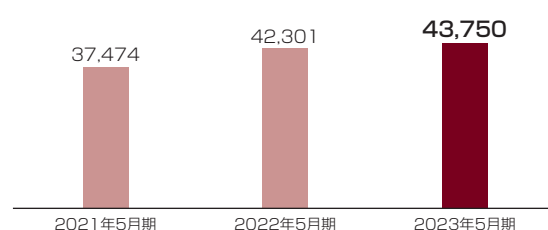
また余暇事業では、「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」、「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」および「愛知県森林公園」の各施設は新型コロナウイルス感染症禍から続く屋外レジャー人気により安定的に稼働しております。

特に「HOTEL WOOD高山」はインバウンド需要の回復により、稼働率の上昇から単月黒字化を達成し、現在も安定稼働を継続しております。

これらに加えて、当社グループが掲げる「木質資源カスケード事業」の上流工程である森林資源・伐採事業として、岐阜県高山市での自社林伐採を開始するとともに、製材工場（岐阜県美濃加茂市および岐阜県加茂郡八津町）の建設に向けた準備を進めてまいりました。

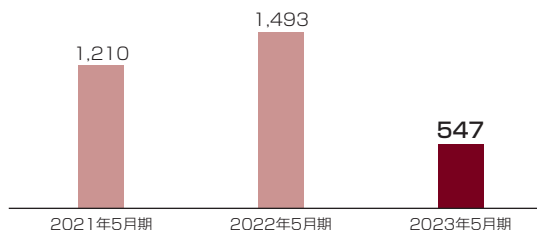
### 売上高 (単位：百万円)

**43,750**百万円 (前年同期比**3.4%**増)



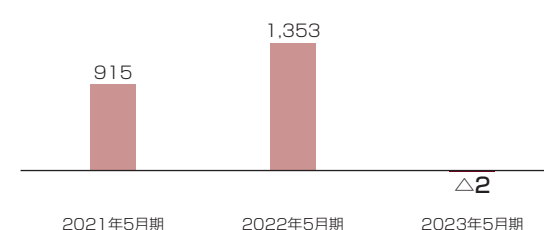
### 営業利益 (単位：百万円)

**547**百万円 (前年同期比**63.3%**減)



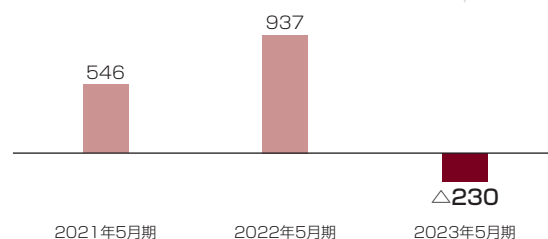
### 経常利益 (単位：百万円)

**△2**百万円 (前年同期比**一**)



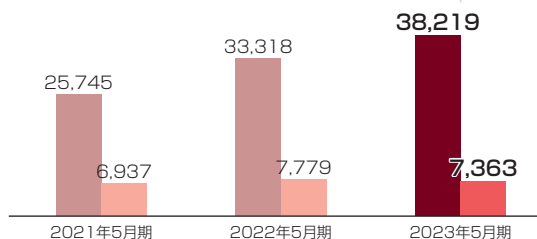
### 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

**△230**百万円 (前年同期比**一**)



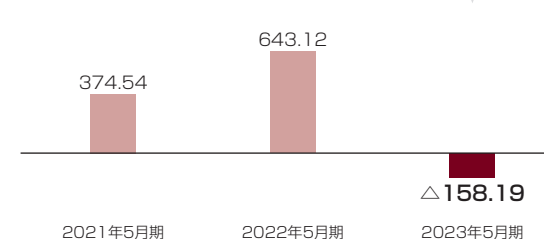
### 総資産・純資産 (単位：百万円)

**38,219**百万円 / **7,363**百万円



### 1株当たり当期純利益 (単位：百万円)

**△158.19**百万円 (前年同期比**一**)



# CONSOLIDATED SEGMENT OVERVIEW

セグメント概況

## 住宅事業

売上高 **40,009**百万円 前年同期比 **0.9%**増



## 分譲住宅事業

- デザイナーの感覚と設計から岐阜工場での部材生産までが規格化・工業化された合理的な生産システムにより、安定した品質とコストパフォーマンスに優れた住まいを提供しています。

## 商品住宅事業

- 商品訴求と価格訴求をさらに深掘りしたWEBサイトにより「製造小売り」体制を深化させ、土地仕入れ能力を活かした豊富な土地情報と、累計12,000戸の実績に裏付けされた技術・ノウハウを活かす多様なプランからお選びいただくことができる新しいタイプの規格型注文住宅を提供しています。

## 建設資材事業

- 岐阜工場が担当する柱・横架材・羽柄材のプレカット加工や集成材の生産、また木製外壁材・WALL WOODや木製サッシ・WINDOW WOODなどの木質建材の開発・製造については、自社で生産する戸建住宅での使用にとどまらず、工務店・プレカットメーカー・商社等へ販路を拡大し、売上・収益の向上を目指してまいります。

## 余暇事業

売上高 **2,341**百万円 前年同期比 **1.5%**増

## ゴルフ事業

- 愛知県初のPFI事業（愛知県森林公園ゴルフ場施設整備等事業）の指定管理者として、2007年4月よりウッドフレンズ森林公園ゴルフ場を運営しています。また、2011年4月から愛知県森林公園、2018年4月からはウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部の指定管理者にも選定され運営を行っています。



## ホテル事業

- 住宅事業で培ってきた独自の木造建築デザインやノウハウを活かし、年々需要が高まるインバウンド需要を見据え、岐阜県高山市に日本の精神文化「ZEN（禅）」の思想を基本とした木造ホテルを建設・運営しております。

## 都市事業

売上高 **1,385**百万円 前年同期比 **304.3%**増



## アセットマネジメント事業

- 適切な不動産運用を行い、不動産市場と地域経済の活性化を目指します。クラウドファンディング「信長ファンディング」を運営し、不動産の小口販売を行うことにより、不動産投資参加者を増やします。

## 福祉系施設プランニング事業

- 運営事業者と協業し、ナーシングホームをはじめとした福祉系施設を収益物件化します。

## その他の事業

売上高 **14**百万円 前年同期比 **13.2%**減

住宅事業 **91.4%**

連結売上高

**43,750**百万円  
前年同期比 **3.4%**増

余暇事業 **5.4%**

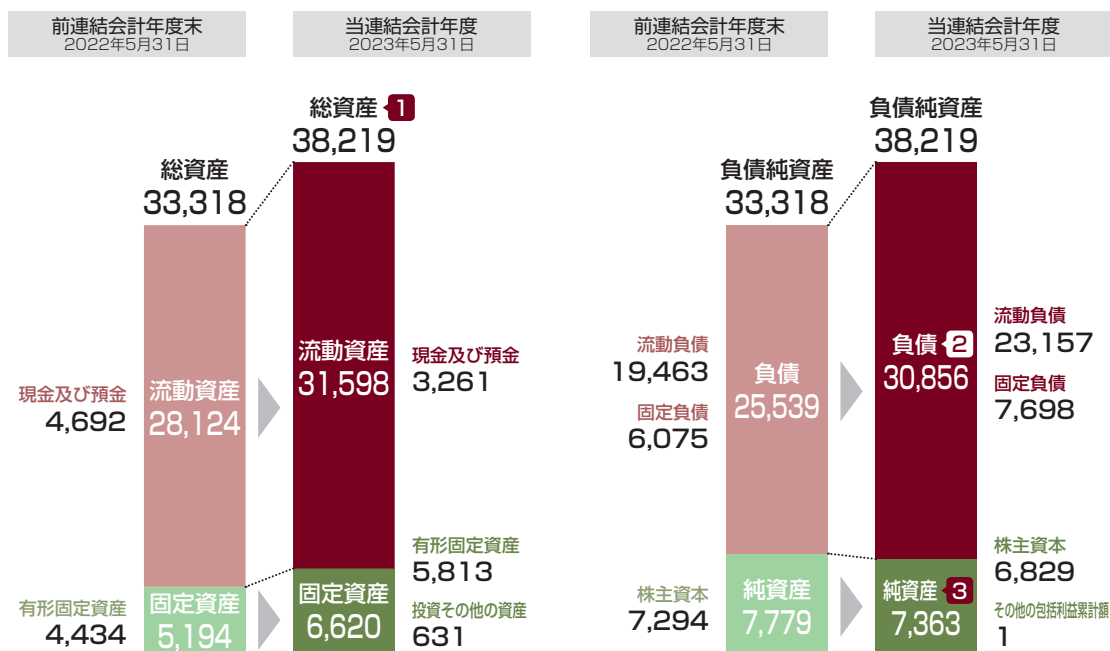
都市事業 **3.2%**

その他の事業 **0.0%**

# CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



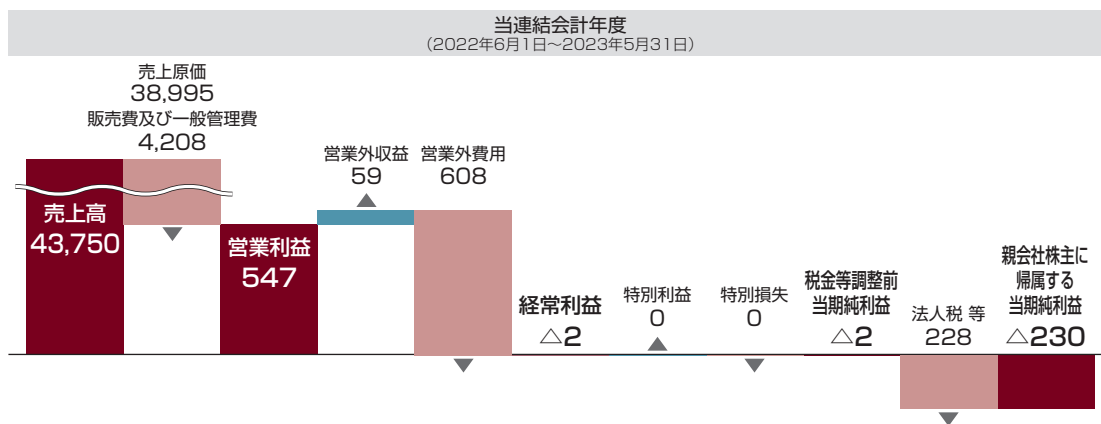
### 解説

- 1 資産合計は、たな卸資産（販売用不動産、仕掛販売用不動産および未成工事支出金）の増加のほか、製材工場建設に向けた用地取得等により、前連結会計年度と比較し4,900百万円増加し、38,219百万円（前年同期比14.7%増）となりました。
- 2 負債合計は、たな卸資産および製材工場建設に伴う借入金が増加し、前連結会計年度と比較し5,317百万円増加し、30,856百万円（前年同期比20.8%増）となりました。
- 3 純資産合計は、配当金の支払を主な要因として、前連結会計年度と比較して316百万円減少し、7,363百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

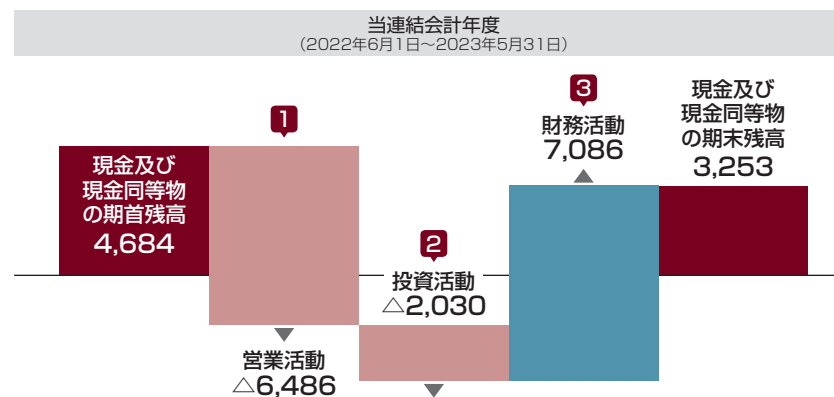
### 解説

- 1 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の減少およびたな卸資産が増加したこと等により、6,493百万円の支出（前年同期比96.5%増）となりました。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得による支出により、1,999百万円の支出（前年同期比176.6%増）となりました。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金による収入により、7,086百万円の収入（前年同期比59.2%増）となりました。

## ■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



## 1 【木質資源カスケード事業】 自社林での伐採に着手

当社は、2011年の集成材工場とプレカット工場の設立以降、住宅の製造小売体制の構築を進めるとともに、構造材をはじめ各種木質住宅部材の国産材化に取り組んでまいりました。また、オリジナル木質住宅部材の開発にも注力し、当社住宅の木質化を進め、国産材を最大限に活用してまいりました。



一方、日本国内には本格的な利用期を迎えた豊富な人工林が手つかずとなっており、かつ林業従事者の不足や高齢化による、森林資源の活用や循環の停滞が課題となっています。当社は、森林資源の循環活用の推進と林業の活性化を目指し、自社林の伐採を通じて林業の実態や課題、担い手の声を現場から直接吸収し、収益や生産性向上に向けた課題の解決に取り組んでまいります。

自社林の伐採は、地元で長年林業に従事している企業さまにご協力いただき、計画から伐採、搬出に密着しました。伐採指導を通じて経験した、林業の危険な環境やハードな業務、自然と対峙するスケールの大きさや魅力、国産材の価値を当社の住宅事業をはじめとする各事業で届けてまい



ります。更に、伐採前の山林調査については、無人ヘリコプターによるレーザを使った森林計測を試行し、当社の「木質資源カスケード事業」における有用性の検証など、スマート林業技術にも挑戦しています。

Webを  
チェック

木質資源カスケード トピックス

検索



## 2 【都市木造事業】 "木の倉庫"を竣工

木造建築物による都市の新しい価値を創造するとともに、都市の木造化を推進し、カーボンニュートラルの実現に向け、中規模木造事業に取り組んでおります。

2023年5月31日に森林公園ゴルフ場の敷地内に竣工した倉庫では、集成材を使用し、8.19m×18.20mの無柱空間を実現しました。



これまでの中規模建築物のほとんどは鉄骨造または鉄筋コンクリート造が選択されてきましたが、合理的な構造計画による木造設計を行うことで、コストを抑え選択肢を広げることが可能であると考えております。

また、断熱性能を高めたり、調湿効果や消臭にも期待できることから、室内環境を向上させる効果もあります。

当社は、住宅だけではなく、非住宅でも木造化を推進してまいります。

## 3 【HOTEL WOOD高山】 単月での黒字化を達成

HOTEL WOOD高山では、長く続いた新型コロナウイルス感染症禍からの社会経済活動の正常化を背景に需要が回復し、稼働率が上昇したことにより2023年3月には単月黒字化を達成いたしました。その後も、安定稼働を継続しております。



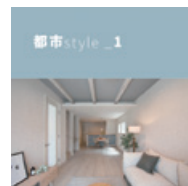
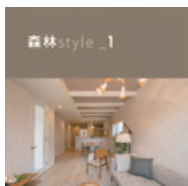
今後も事業を通じて地域の生活文化の形成に貢献してまいります。

## 4 【新商品】平屋商品住宅 style:F

style:Fは、大きな片流れ屋根から出る深い軒と袖壁につながるモダンなファサードに、WALL WOOD（オリジナル木製外壁材）が持つ木材のナチュラルな風合いをアクセントとし、スタイリッシュでありながら落ち着きとやさしさを感じる外観デザインとしました。住む人の好みやライフスタイルに合わせて、外観、内観ともにカラーコーディネートをお選びいただけます。



ナチュラル系の森林スタイルでは、木のぬくもりを感じながら丁寧な暮らしを楽しみたいstyle\_1と、自分らしい空間で好きな人達を招いてにぎやかに楽しみたいstyle\_2を、クールな都市スタイルでは、穏やかでシンプルなライフスタイルを大切にするstyle\_1と、こだわりのインテリアで落ち着きある空間で過ごしたいstyle\_2を用意しております。



## 5 【売上戸数1,023戸】店舗拡大・新商品の販売開始

当社は、2022年11月より名古屋市守山区に新商品、自然素材をまとうエシカルな暮らしを提案する『地球世代』を展示場に建設、2023年2月には、商品住宅として平屋商品『style:F』の販売を開始いたしました。

また2022年10月29日に名古屋市緑区で『住みかえSHOP緑店』、12月10日に豊田市で『住みかえSHOP豊田店』、2023年4月1日には刈谷市にモデルハウス併設型の『住みかえSHOP刈谷店』をオープンし、顧客接点の強化を図り、積極的な営業施策に取り組んでまいりました。その結果、住宅事業の売上戸数が1,023戸（前年対比1.9%増）となり、2期連続で過去最高を更新する事が出来ました。



その他のトピックスは当社ホームページをご覧ください!

Webを  
チェック

ウッドフレンズ トピックス

検索



# CORPORATE PROFILE

会社概要 (2023年5月31日時点)

商 設 資 社	号 立 金 数	株式会社ウッドフレンズ
		1982年11月26日
本 社	本 金	279,125,000円
		193名 (288名)
		※ ( ) 内は連結会社を含む社員数
		〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目5番3号 KDX名古屋栄ビル2F TEL 052-249-3503 (代表) FAX 052-249-4267

主 要 な 事 業 所	名古屋東展示場
	名古屋市守山区大字下志段味字廻間145番7
	豊橋支店
	豊橋市大橋通一丁目68番地 静銀ニッセイ豊橋ビル2階
	HOTEL WOOD 高山
	岐阜県高山市上二之町80-2
	岐阜支店
	岐阜県養老郡養老町大坪宇田中15番9号
	岐阜工場 (株式会社フォレストノート)
	岐阜県養老郡養老町大坪15番地1

子 会 社	森林公園ゴルフ場運営株式会社
	株式会社プロパティウッド
	株式会社リアルウッドマーケティング
	株式会社フォレストノート

取 引 銀 行	愛知銀行	東濃信用金庫
	愛知県信用農業協同組合連合会	豊田信用金庫
	愛知信用金庫	名古屋銀行
	いちい信用金庫	日本政策投資銀行
	伊予銀行	八十二銀行
	大垣共立銀行	飛騨信用組合
	蒲郡信用金庫	百五銀行
	関西みらい銀行	百十四銀行
	岐阜信用金庫	広島銀行
	岐阜県信用農業協同組合連合会	福岡銀行
	三十三銀行	福邦銀行
	十六銀行	碧海信用金庫
	商工組合中央金庫	北陸銀行
	関信用金庫	みずほ銀行
	瀬戸信用金庫	三井住友銀行
	第四北越銀行	三井住友信託銀行
	高山信用金庫	三菱UFJ銀行
	知多信用金庫	山口銀行
	中京銀行	りそな銀行
(五十音順)		

役 員 構 成	代表取締役 会長	前田 和彦
	最高経営責任者 (森林公園ゴルフ場運営株式会社 代表取締役)	
	代表取締役 社長	林 知秀
	代表執行役員 (株式会社プロパティウッド 代表取締役)	
	取締役	加藤 猛雄
	社外取締役	小笠原 剛
	取締役 (監査等委員)	伊藤 嘉浩
	社外取締役 (監査等委員)	片桐 正博
	社外取締役 (監査等委員)	三輪 勝年
	執行役員	笹原 利明
	執行役員	山田 修
	執行役員	平嶋 豊三
	執行役員	春日 隆

株式会社フォレストノート	
代表取締役	池田 豪
株式会社リアルウッドマーケティング	
代表取締役	山田 大輔

事 業 許 可 番 号	特定建設業
	愛知県知事許可 (特-3) 第40178号
	宅地建物取引業
	国土交通大臣免許 (5) 第6013号
	一級建築士事務所
	愛知県知事登録 (い-2) 第5644号



# STOCK INFORMATION

株式状況、株主メモ（2023年5月31日時点）

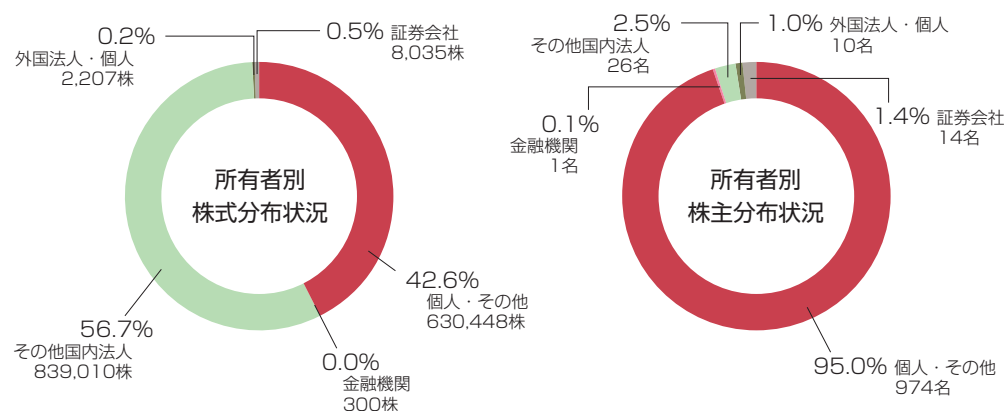
## 株式の状況

発行可能株式総数	4,800,000株
発行済株式の総数（自己株式を含め）	1,480,000株
株主数	1,025名

## 大株主

株主名	持株数（株）	議決権比率（%）
ベストフレンズ株式会社	616,200	42.2
株式会社東邦レオホールディングス	120,000	8.2
前田和彦	44,200	3.0
前田扶美子	44,200	3.0
橘俊夫	44,100	3.0
松岡明	44,000	3.0
柴田芳	40,000	2.7
林知秀	40,000	2.7
橘かおり	23,500	1.6
一般財団法人レオ財団	23,500	1.6

## 株式分布状況



※自己株式数21,917株を含んでおります。

## 株主メモ

事業年度	6月1日から翌年5月31日まで
配当金受領株主確定日	5月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主の確定日は、11月30日といたします。
定時株主総会	8月
公告方法	電子公告 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告のホームページアドレス <a href="https://www.woodfriends.co.jp/ir/e-public-notice/">https://www.woodfriends.co.jp/ir/e-public-notice/</a> 貸借対照表掲載のホームページ <a href="https://www.woodfriends.co.jp/ir/settlement-accounts/">https://www.woodfriends.co.jp/ir/settlement-accounts/</a>
会計監査人	監査法人東海会計社
株主名簿管理人（特別口座管理機関）	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

（お知らせ）

●住所変更等のお申出先について  
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。